

2025

英語文学

～英米文学を中心にして～



武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部

講義担当者: 佐々木隆

目次

頁については追加資料の関係から通し頁ではなく、章毎に頁を付した。よって各章はすべて1頁から始まることになる。

1	英語圏文化と英語文学	1
	(1) 「英語」という言語	1
	(2) 英語圏文化	2
	(3) World Englishes	6
	(4) 事例：英語と米語の違い	11
	(5) ピジン英語	12
	(6) イギリス語という考え方	14
	(7) 英語文化	15
	(8) 英語文学とは	16
	(9) コモンウェルス文学	21
	注	22
2	文学から得られるもの	1
	(1) 「芸術」とは何か	1
	(2) ミメシス	1
	(3) 「文学」とは何か	6
	[1] 「文学」の定義	6
	[2] ボブ・ディランのノーベル文学賞受賞	8
	[3] ボブ・ディラン	11
	注	12
3	ケルトとケルト文化	1
	(1) 「ケルト」という名称	1
	(2) ケルト、ケルト人、ケルト民族	3
	(3) ドイルド教	6
	注	13
4	ハロウィーン	1
	(1) 「ハロウィーン」の起源	1
	[1] サムヘイン	1
	[2] サムヘインからハロウィーンへ	3
	[3] 2つの祝祭	8
	[4] ソウリング	15
	(2) ガイ・フォークス・デー	16
	(3) 10月31日～11月5日	26

(4) jack-o'-lantern	2 8
(5) ハロウィーンとゲーム、占い	3 1
(6) アメリカのハロウィーン	3 8
[1] 「カブ」から「カボチャ」へ	4 4
[2] trick or treat、子供向けのイベントへ	4 9
[3] ミスチフナイトからデビルズナイトへ	5 5
[4] イベント化の進むハロウィーン	6 0
[5] アメリカの影響	6 3
[6] ビジネス化したハロウィーン	6 4
注	6 6
5 イギリスとは	1
(1) 「イギリス」という名称	1
(2) 「イギリス」をどう呼ぶか	3
(3) 「ロンドン」とは何か	7
(4) イギリス文化について	9
(5) パブリック・スクールとスポーツ	1 1
(6) SPEECH BY HIS MAJESTY THE KING STATE BANQUET IN HONOUR OF EMPEROR NARUHITO	1 3
注	1 8
6 イギリス文学史	1
(1) イギリス文学の特徴	1
[1] 「イギリス文学」とは	1
[2] イギリス文学の特徴	1
(2) イギリス文学史	2
注	3 5
7 シェイクスピア	1
(1) 演劇の始まり	1
(2) シェイクスピアの生涯とその時代	4
(3) シェイクスピア演劇の特徴	5
(4) Appearance and Reality	6
(5) 映像化されたシェイクスピア	8
[1] 『ハムレット』	8
[2] 『ロミオとジュリエット』	1 1
[3] 『リア王』	1 2
[4] 『マクベス』	1 8
注	2 3

8	アメリカ先住民	208
	(1) “Indian”	208
	(2) 大学での “American Indian” “Native American”の取り扱い	210
	(3) 用語や言葉の整理	211
	(4) ヨーロッパから北アメリカ	213
	(5) どう呼ぶのが良いのか	215
	注	221
9	「人種のるつぼ」から「サラダボウル論」へ	1
	(1) 学生はどうやって「人種のるつぼ」「サラダボウル」を知ったか	1
	(2) 大学での「人種のるつぼ」「サラダボウル」の取り扱い	2
	[1] 大学の講義	2
	[2] the melting pot から the salad bowl への変遷	2
	[3] the melting pot から the salad bowl へ	4
	注	16
10	アメリカ文学史	1
	(1) アメリカ文学の特徴	1
	(2) アメリカ文学の概略	1
	(3) アメリカ文学史	2
11	アメリカン・ドリーム	1
	(1) アメリカン・ドリーム	1
	(2) アメリカン・ドリームの源泉	3
	(3) アメリカン・ドリームとアメリカン・ヒーロー	13
	注	15
12	人種問題と文学	1
	(1) 人種問題	1
	(2) 移民と先住民	2
	(3) 黒人	3
	(4) 黒人と文学	6
	(5) BML	6
	注	7
13	英米文学と映画	1
	(1) 活字離れと映像	1
	(2) 映画で見るイギリス	1
	(3) イギリス文学と映画	3
	(4) 映画で見るアメリカ	5

(5) アメリカ文学と映画	5
(6) 映画音楽	6
(7) 映画の原作と製作会社	7
注	7
14 英米文学の特徴 文学と科学	1
(1) 英米文学の特徴	1
(2) 「科学」・「文学」とは何か	1
[1] 「文学」・「科学」の定義	1
[2] ゴシック小説	2
①三浦清宏・金井公平「英米文学における超自然—現代における 恐怖小説の復権：H. P. ラヴクラフトの場合—」(1990)	2
②金井公平「西洋文学における超自然—H.P.ラヴクラフトとゴシ ック小説—」(1999)	3
③小池滋『ゴシック小説を読む』(1999)	4
④古木宏「破滅への欲望—H・P・ラヴクラフト作品が求められ る理由の考察—」(2009)	5
⑤西崎憲「怪奇小説考」(2013)	7
⑥H.P. Lovecraft. <i>Supernatural Horror in Literature</i> (1927)	7
⑦Edith Birkhead. <i>The Tale of Terror: A Study of the Gothic Romance</i> (1921)	1 2
⑧Devendra P. Varma. <i>The Gothic Flame: Being a History of the Gothic Novel in England: Its Origins, Efflorescence, disintegration, and Residuary Influences</i> (1957)	1 6
⑨坂本光『英国ゴシック小説の系譜—『フランケンシュタイン』 からワイルドまで』(2013)	2 2
⑩Roger Luckhurst. <i>Gothic: An Illustrated History</i> (2021)	2 7
[1] Roger Luckhurst	2 7
[2] Roger Luckhurst. <i>Gothic: An Illustrated History</i> (2021)	2 9
(3) ゴシック小説からSFへ	4 9
(4) SFとは	5 1
(5) SFの原点とは	5 8
(6) 文学における『フランケンシュタイン』の取り扱い	6 4
(7) SFと死者蘇生	6 9
(8) ゾンビと死者蘇生	7 1
(9) 人造人間・ロボット等の用語の整理	7 3
[1] ロボットのイメージ	7 3
[2] 「ロボット」とは何か	7 4
[3] オートマン	7 7
[4] 人造人間	7 9

[5] サイボーグ	79
(10) SFと人造人間・ロボット	82
(11) メアリ・シェリー『フランケンシュタイン』(1818)	85
(12) 『フランケンシュタイン』(1818)の時代と科学	89
(13) フラケンシュタイン博士が創造した怪物が求めたもの	89
(14) 『フランケンシュタイン』の残したもの	90
(15) H・P・ラヴクラフト「ハーバート・ウェスト」(1922)	90
[1] H.P.Lovecraft "Herbert West Reanimator"(1922)	90
[2] "reanimator"あるいは"re-animator"という英語	91
[3] "Herbert West Reanimator"	93
[4] アメリカ文学史でのH・P・ラヴクラフトの取り扱い	103
[5] ゴシック小説とゾンビの関係	106
(16) アイザック・アシモフ『われはロボット』(1950)	107
(17) ロバート・A・ハインライン『宇宙の戦士』(1959)	114
(18) SFから現実へ	118
(19) フランケンシュタイン・コンプレックスからアシモフの「ロボット工 学三原則」と手塚治虫の「ロボット法」	118
(20) ロボットと文学関連年表抄	123
注	125
15 児童文学	1
(1) 「こども観」とは	1
[1] 「子供」「子ども」「こども」の表記	1
[2] 「児童」とは	1
[3] 「こども観」比較考	2
[4] こども学	3
(2) 「昔話・お伽話・童話・少年文学」から「児童文学」へ	5
[1] 明治以前の「昔話・お伽話」	5
[2] 明治初期 童話と児童観、児童文学	5
[3] 「児童文学」とは何か	7
[4] エレン・ケイ『児童の世紀』	8
[5] 『赤い鳥』とそれ以後	8
(3) ヨーロッパの児童文学	10
[1] 童話	10
[2] ファンタジー	12
[3] 少女小説	18
(4) 日本に英米文学が紹介された頃	20
[1] 受容のあり方について	20
[2] 英米児童文学の紹介	22
(5) 文学作品の変容	24

[1] 活字化から舞台へ	24
[2] マンガ化、アニメ化、映像化	26
(6) イギリス児童文学の出版事情	27
[1] 産業革命以後と児童文学	27
[2] 「三匹の子豚」 <i>Three Little Pigs, The</i>	27
[3] 「ジャックと豆の木」(「ジャックと豆のつる」) <i>Jack and the Beanstalk</i>	28
[4] 「幸福の王子」 <i>The Happy Prince</i>	28
[5] 『フランダースの犬』 <i>A Dog of Flanders</i>	28
(7) アメリカ社会と児童文学	29
[1] 「自由なる大地 勇者の故郷に」	29
[2] オルコット 『若草物語』	30
[3] バーネット 『小公子』	30
[4] バーネット 『小公女』	31
[5] バウム 『オズの魔法使い』	31
[6] ウェブスター 『あしながおじさん』	32
[7] ハロルド・グレイ原作 『アニー』	32
[8] 科学とファンタジー	32
注	43